

## 【目的・用途】

タンパク質溶液から界面活性剤を効率よく、迅速に除去するためのレジン担体です。タンパク質抽出やサンプル調製、ウイルスの不活性化等で使用される一般的な界面活性剤とアフィニティー結合します。

## 【特徴】

- 1) 高結合容量
- 2) 簡単・迅速な操作
- 3) 高収率・高精製度

## 【キット内容・保存方法】

内容	容量	開封後の保存方法	使用期限
界面活性剤吸着レジン	5mL	4°C	1年

## 【レジン特性】

構造	疎水性ポリマーと球状のシリカビーズ
平均粒子径	40-100um
排除限界	10kDa
pH 範囲	2-12
使用温度	2-30°C
保存溶液	20%エタノール

## 【レジンの界面活性剤結合能】

界面活性剤	結合能(mg/mL)
ASB-14	60.0
CHAPS	75.0
SDS	15.0
TnBP	40.0
Triton X-100	60.0

## 【使用例】

ご使用方法の一例として、スピンカラムにレジンを充填して用いた場合について記載します。

### <使用する消耗品など>

- ・ 空のスピンカラム (例: Mo Bi Tec 社 Mobicol F シリーズ 等)
- ・ 洗浄用バッファー (PBS 等)

### <サンプルの準備>

サンプルに含まれる界面活性剤量がレジンの界面活性剤結合能を超えないようにサンプルを調製します。

サンプル容量は充填したレジンと等量以上となるように調製してください。

### <レジンの充填>

- 1) 50%(v/v)界面活性剤除去レジンスラリーを十分に混合し、必要量をスピンフィルターに移します。
- 2) 1,000xg、室温、2分間遠心し、ろ液を除きます。

※除去したい界面活性剤の量によって使用するレジンの量は異なります。

※50%(v/v)スラリーの調製方法は下記ご参照ください。

先を切ったチップや薬さじなどを使用し、PBS等の洗浄用バッファーを含むガラスシリンダーに移してください。よく攪拌し、沈むのを待ち上清を除去します。沈降したレジンと等量の洗浄バッファーを加えます。

### <充填したレジンの洗浄>

- 1) 洗浄バッファー (PBS 等) をレジン容量の数倍程度を目安に加え、1,000xg、室温、2分間遠心します。
- 2) コレクションチューブからろ液を除きます。
- 3) 1)、2)をさらに2回繰り返します。

### <界面活性剤の除去>

- 1) サンプルをレジンに加え、室温、2分間インキュベートします。
- 2) 1,000xg、室温、4分間遠心します。
- 3) ろ液を回収します。(界面活性剤が除かれた画分です。)

## 【トラブルシューティング】

トラブル	原因と対策
サンプルまたはバッファーが溶出しない	遠心操作が不適切。 遠心操作は1,000xgで行ってください。 レジンが乾燥している。 洗浄バッファーでレジンを洗ってください。
界面活性剤が除去されない	サンプルに含まれる界面活性剤量がレジン結合量を上回っている。 レジンの界面活性剤結合能とサンプルに含まれる界面活性剤量をご確認ください。
タンパク質の回収率が低い	タンパク質濃度が低い。 0.1mg/mL以上のサンプルをご用意ください。 サンプル量が少ない。 サンプル量は充填するレジン量と等量以上となるように調製してください。



株式会社ファーマフーズ アプロサイエンスグループ  
〒770-0865 徳島県徳島市南末広町4-53 エコービル4階  
■Tel:088-678-6372 ■Mail:bio@apro-s.com  
■Url:https://apro-s.com/  
本社 〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原1-49